

# 第5学年家庭科シラバス

5年生ではこんな学習をします

## 学習の目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基本的な知識及び技能を身につけます。  
家庭生活を大切にすることをはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てます。

## 学習の方法

製作や調理などの実習や調査等の実践的・体験的な学習を多く取り入れます。  
身近な生活の課題に気づき、意識をもって追究し解決のための方法を探るなどの学習を行います。

## 学習の評価

家庭科では次の観点で評価します。

「進んで学習ができる。」  
授業への参加態度、提出物、発表など

「家庭科の学習を自分なりに工夫しようとする。」  
行動観察、発表、プリント、作品など

「生活自立に必要な基礎的スキルが身に付いている。」  
作品、実習の様子、プリント、テストなど

「衣食住などの生活に必要な基礎的知識が身に付いている。」  
テスト

## 年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前 期  35 時 間	さあ、家庭科を学びましょう	これまでの自分の成長を見つめ、2年間の学習の見通しを持ちます。
	1 見つめてみよう わたしと家族の生活	1日の生活を振り返り、家族とのかかわりや生活の仕方を見つめできるようになったことを話し合います。
	2 はじめてみよう クッキング (1)はじめの一步	ガスコンロを使って、湯を沸かす。調理の手順や調理器具について調べます。
	(2)ゆでてみよう (3)ゆで野菜のサラダをつくらう	卵をゆでたり、青菜をゆでたりします。
	3 はじめてみよう ソーイング (1)針と糸にチャレンジ (2)楽しい小物作り	ゆで野菜計画を立て、調理します。針と糸を使って、玉結び、玉止め、名前の縫いとりをします。
	4 かたづけよう 身の回り	ボタン付けをします。小物製作をします。
後 期  25 時 間	5 できるようになったかな 家庭の仕事 チャレンジコーナー	身の回りを整理整頓をする計画を立て、工夫しながら整理整頓をします。
	6 わくわくミシン (1)ミシンにチャレンジ (2)計画を立ててつくってみよう	家庭の中で自分のできる仕事を考え、工夫しながら継続的に実行します。
	7 元気な毎日と食べ物 (1)五大栄養素のはたらきと食品のグループ (2)バランスのよい食事をしよう (3)ご飯とみそ汁を作ろう	休日や夏休みなどに家庭実践をします。ミシンを安全に操作し、直線縫いをします。
	8 上手に使おう 物やお金 (1)物やお金の使い方を見直そう (2)買物の仕方を考えよう	自分が使うエプロンを作ります。
後 期  25 時 間	9 寒い季節を快適に (1)あたたかい着方を工夫しよう (2)あたたかく明るい住まい方を工夫しよう。	毎日食べている食品を調べ体内の働きにより3つのグループに分けます。
	10 家族とほっとタイム (1)楽しい団欒 (2)つながりを深めよう	バランスのよい食事について考えます。ご飯とみそ汁の調理をします。
		物やお金の使い方を振り返り、上手な買い方について話し合います。
		寒い季節に合った着方の特徴や衣服の働きについて調べたりします。
		日光の役割を考えたり、あたたかく過ごす方法を調べたりします。
		だんらんをもつ計画を立てます。
		1年間を振り返り、学習したことや出来るようになったことを確認しあいます。